



『英語と仲直りできる本』のデビッド・バーカー氏、待望の新刊！

『英語じょうずになる事典』

- ネイティブ講師が日本人のために書いた英語あたまをつくる 210 講 -

2008 年 12 月 1 日発売

株式会社アルク(東京都杉並区永福 代表:平本 照磨)より、新刊『英語じょうずになる事典』のご案内を申し上げます。

「あれ？ これで合ってるっけ？」

英語を話すときのアノ不安が、きれいさっぱり解消します！



【本体】1,800 円(税込 1,890 円)
【ISBN】978-4-7574-1478-5
【サイズ】A5 判 【頁数】360 ページ

英語教師歴 16 年のデビッド・バーカー先生が、これまでに見つけた「日本人に共通する英語の間違い」をほぼすべてリストアップし、その原因と対策をやさしく解説します。

「文法編」時制・冠詞・話法ほか日本人が間違いがちな文法 36 項目

→これまで悩まされてきた英語の決まりごとがずっとアタマに入ります。

「表現編」：間違って訳しがちな日本語の日常表現 174 項目

→なぜこれが間違いなのか、を考えるうちに英語らしさの本質が見えてきます。

読むだけで自然に「英語らしい英語」を発信できるようになる事典です。

例えば...

(1)彼女は目を閉じていた → × She was closing her eyes.

(2)昨日の夜、きみの夢を見たよ → × I saw your dream last night.

(1)日本語の「～している」は、いつも英語の進行形 (be + -ing) で訳せるとは限りません。この英文だと、「彼女は眼を閉じようとしているところだった」という意味になってしまいます。

(2)は、「あなたの」を your にしてしまったことが間違い。英語の所有格は「今その人が所有している」という意味なので、「your dream を見た」なんて言うと、「私の夢をどうやって覗いたの？」と気持ち悪がられてしまうかも？

こうした間違いの原因と対策をやさしくクリア

に説明できるのは、バーカーさん本人が、

日本語と英語の構造や発想の違いに悩ま

されながら、頑張って日本語をマスターした人

だから！ もちろん、この本もバーカーさん

本人が日本語で書いています。モニター読者さんからも、「初級者の私にも

わかりやすく面白い」「目からウロコが落ちました」と大好評！ ぜひ、い

つもそばに置いて、繰り返し読んでいただきたい一冊です。



David Barker(デビッド・バーカー)

プロフィール

1967 年、イギリス、ウェールズ生まれ。リバプールで警官として 2 年勤務した後、英語教師に転身。以来、シンガポール、イギリス、日本、ニュージーランドなど、さまざまな国で英語を教えてきた。名古屋女子大学助教授を経て、現在は南山大学総合政策学部助教授。趣味はオートバイなど。

見本書のご請求、本リリースへのお問合せは下記までご連絡ください。

デビッド・バーカー氏へのインタビュー取材もアレンジ可能です。ご相談ください。

株式会社アルク 広報部 (担当:河合)
〒168-8611 東京都杉並区永福 2-54-12
電話:03-3323-3521 FAX:03-3327-3971
e-mail: menet@alc.co.jp